七転び八起き

三重県四日市市八王子線・三重軽便鉄道から あすなろう鉄道まで 115年の歴史をひもとく

（運営会社）

1910年 明治43年・三重軽便鉄道(株)
44年・三重軌道(株)
← 1916年 大正5年・三重鉄道(株)
← 1931年 昭和6年・三重鉄道(株)が四日市鉄道合併
19年・三重交通(株)
39年・三重電気鉄道
40年・近畿日本鉄道(株)
← 2015年 平成27年・四日市あすなろう鉄道

なんと、創立から115年の間で8つの会社が運営にかかわっている!

三重県四日市市四郷村の生まれ伊藤六治郎は海外視察をした時、物資を蒸気機関車で運ぶ欧米と人が担いで運ぶ日本とのちがいにおどろき、四郷村に鉄道をしけないかと考え有志と共に会社を創立。

←大正時代

四日市集中豪雨 昭和49年7月

八王子線沿いに流れていた天白川氾濫により、橋の損かい、路線が道床まで流出するなどの大きな被害がでた。当時から赤字路線だった西日野〜伊勢八王子駅の廃線が決定。

（当時の災害を知る住民の方にインタビュー）

「昔は天白川のことをみんな笹川と呼んでいた。笹川沿いに桜並木があって、桜のトンネルを走る電車が好きだった。災害で桜もなくなり、線路がプカプカ浮いているのが印象に残っている。」

災害時のようす

→その後復旧作業により、市は天白川を掘削し、提防を高くして今は安全をかく保している。

日永〜伊勢八王子間 大正元年開業

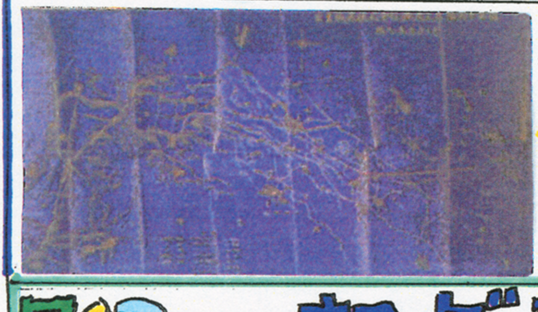
伊勢八王子—室山—四郷役場前—清水橋—西日野—東日野—日永

天白川（笹川）

八王子線—四日市方面

内部線

内部—小古曽—追分—泊—南日永—日永



幻の路線地図発見 トリビア①

←鈴鹿支線を作る計画があったが、（大正10年）旅客収入不足と第1次世界大戦後の不況で断念。

トリビア② 今では知る人ぞ知る!? 赤字で廃線になった路線

南浜田—鵜の森—諏訪—諏訪前—市役所前—四日市市

阿瀬知川

運転士泣かせ「善光寺カーブ」と呼ばれる名所があった。

開業以来、たくさんの存続危機をのりこえてきた内部・八王子線だったが、平成20年代前半、ついに利用者数減少による廃線の危機が!しかし、地元住民によるしょ名活動により、17万人のしょ名が集まり、平成25年四日市市と近鉄は、公有民営による存線で合意した。

762mm ナローゲージ（狭い線路）

現在、幅762mm鉄軌で運営されているのは全国で3社のみ!

①四日市あすなろう鉄道 ②三岐鉄道 ③黒部峡谷鉄道

軽便鉄道から115年 変わらない特殊狭軌線

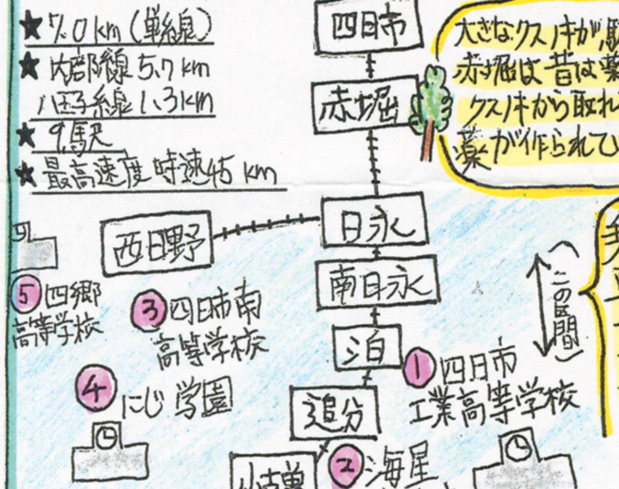
近代遺産とも呼べる貴重な路線です。

カフェ列車やバレンタイン列車 ロゲイニングなど体験型のイベントを多く実施している ♥♥♥♥

シースルー列車は一両のみ! 車内の床がガラス貼りで走行している狭軌を見て、よりナローゲージを実感できる

毎年大好評! 冬限定のイルミネーション列車。ロマンチックな旅をどうぞ!

★7.0km（単線）
★内部線5.7km 八王子線1.3km
★9駅
★最高速度時速45km



大きなクスノキが駅舎にある。赤堀は昔は薬屋が多くクスノキから取れる原料から薬が作られていたらしい。

南日永〜泊区間 世界最速ウサイン・ボルト（時速44km）と並走しているのを想ぞうしながら乗車できる

ASUNAROU RAILWAY 10th ANNIVERSARY

あすなろう鉄道10周年

2015年 平成27年 あすなろう鉄道が開業!

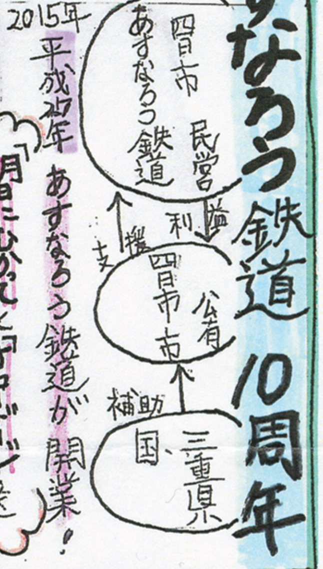
「明日にむかって」と「ナローゲージ」を合わせて「あすなろう」と命名

新車両260系が運行開始

2016年 鉄道ローレル賞受賞、沿線高校生がデザイン車両運行

（愛称）「なろうブルー」「なろうグリーン」市民に親しまれている

こにゅうどうくんと、鉄道むすめ追分あすなのコラボグッズがある



あすなろう鉄道を支えているのは学生!?

・多くの通学生を応えん感謝の気持ちを込めて、あすなろうは高校入試応援キャンペーンを毎年実施。合格祈願した入試乗車証で受験日は無料で乗車できる!

・また内部車庫では、毎年無料開放してお仕事体験も実施。子どもたちに大人気で600人もの参加者が集まった。

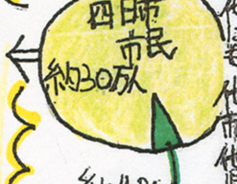
あすなろう鉄道はどんな人が利用しているので、調べてみた。

調べたのは沿線にある高校。（左路線図参照）

通学利用の高校生の数を調査 あすなろう鉄道職員さんにききました。

①50人②200人③500人④50人⑤20人（R6年度調べ）

計820人が沿線高校生が利用 他にも他市他県に通う学生もいる。



約4% 15〜17才（8400人）うち820人があすなろうを利用。
（学生約10人に1人あすなろう利用者）

あすなろうの一日乗降客数約一万人 単じゅんに5000人利用者数のうち、820人が学生だから…約16%が通学利用だと判明!

インタビュー

・あすなろう10周年で、赤字からV字回復できている要因は?

「駅前整備やホームのかさ上げなど、工事を令和2年から始めている。駐輪場や送迎スペース拡大など、市民が利用しやすい駅を作ってきたことや、町づくり企業と一緒にイベント促進していることもあり、市民の方とふれ合えたからだと思う。」

・みなさんのあすなろうの思い出は?

（西井さん）昨年のカフェ列車イベントで多くの方が参加してくれておいしいカフェを食べたり盛りあがった。

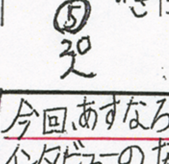
（山上さん）今も昔も変わらず、安全をかく保してお客様をきちんと送り届ける仕事をきちんとしていきたい。

（平子さん）大きな鉄道会社では、仕事が限られてくるがあすなろうでは、駅員や運転、草刈などたくさんのことをしなくてはならないので、やりがいがある。花植えなどのボランティア活動に参加してくれる地域の方とのふれ合いで地域貢献をとても感じる。

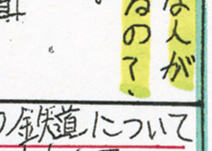
今回、あすなろう鉄道についてインタビューの協力をしていただきました。

四日市あすなろう鉄道 職員さん

平子さん



山上さん



四日市市都市整備部 職員さん 西井さん

ありがとうございました

編集後記

今回、ぼくが住む四日市市を走る小さな電車、あすなろう鉄道を調べて、色んな歴史を知ることができました。時に感じたことは、あすなろうは地域密着をテーマに、市民とよりそいながら走り続けているんだということです。例えば、あすなろうのダイヤは36年間変わらず一番べん利な時刻を採用しています。丸覚えしている市民の方もいるそうです。地域の方に支えられ、助け合いながら、頑張って走るあすなろうを、これからも見守って利用していきたいです。

R7年9月発行
5年 江川陽貴